



# 月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番  
FAX 043(224)5193 番  
2000.9.12 No. 5193

## 「シニア制度」反対! 検修・構内外注化粉碎!

# 9・26 総決起集会へ!

### 今秋の闘いに 総決起しよう

「シニア制度」反対の闘いとともに検修・構内外注化粉碎の闘いに立ちあがろう。この攻撃は「シニア制度」とワンセットになった攻撃としてかけられてきているのだ。東労組ですら「総額人件費の削減であり、外注化、機械化、システム化、新たな雇用形態の導入、業務変更等であるが、従来の効率化の質・量を凌駕している。ダイナミックに企業構造をも変えようとしている」と悲鳴をあげている。JR総連東労組の裏切りを弾劾し、検修・構内外注化反対の闘いを作り出そう。

また、千四十七名闘争は国労定期大会にむかって重要な局面にはいつている。国労は定期大会の代議員選挙とあわせて四党合意についての全組合員の一票投票を実施しようとしている。そもそも敵の攻撃を一票投票にかけること事態が決定的な誤りである。四党合意は不当労働行為であるとして国労の仲間を中心に労働委員会闘争も始まっている。この秋の闘いで「四党合意」を完全に粉碎しなければならぬ。

これらの闘いを十一月労働者集会の大結集へ結びつけよう。われわれは、今年の十一月集会

を「大失業攻撃との対決」「国鉄闘争勝利」という二つの課題を柱にすえた集会として設定している。五千名結集に向けて闘おう。

JR総連解体・組織拡大の闘いに決起しよう。  
九・二六集会へ総結集しよう!

### シニア制度に よる差別許すな

九月二六日、動労千葉はDC会館において「シニア制度」反対・検修一構内外注化粉碎の総決起集会を開催する。九月二六日から定期大会、十一月労働者集会へと「シニア制度」問題とこれをもとにした検修外注化攻撃粉碎の闘いに総決起しよう。

当局は、「シニア制度」の未締結を理由に、つまり組合所属を理由に再就職を希望する動労千葉の組合員に再就職先の一覧の提示と応募に必要な資料の送付を拒否した。つまり動労千葉に所属している限りJR東日本は、定年延長にも応じないし、年金が満額である年令までの再就職先も面倒みないということである。

この「シニア制度」は、日刊動労千葉でも何回も批判してきたようにこの制度のよって得をするのはJRとその関連企業だ

けという会社にとってまったく都合のよい制度であり、労働者にとっては年金支給を逆手にとられ、働かざるをえない状況の中で低賃金での労働を強制されるというものである。

そして、JR東日本は、このシニア制度を労働組合に強制することにによって「シニア制度」と一体となった合理化を強制し、協約を結ばない労働組合つまり動労千葉にはこの制度を利用した組織破壊攻撃をかけてくるのだ。

九月十三日には、検修外注化の本社提案がなされようとしている。この攻撃はまさに「シニア制度」の開始にあわせて六十才定年を迎える労働者にとって、これから六十才を迎える今現在JRで働く労働者にも等しくかかってきている問題である。



### 三名が労働大臣 に申し立て

この「シニア制度」問題に対する闘いはすでに始まっている。本部は8月30日、労働大臣に「請願書」を提出し、9月5日には来年度六十歳定年を迎える、浅野さん、三平さん、羽鳥さん、三名から労働大臣への「申告書」が提出された。職業安定法では、「職業紹介事業者は、求職の申し込みは全て受理しなければならない」と定められている。この職業安定法に違反していることについては是正を求め申し立てた。さらにわれわれは千葉地労委にも不当労働行為救済の申し立てを行い地労委闘争にも立ちあがるものである。全組合員がこの「シニア制度」との闘いを自らの闘いとして「シニア制度」と対決する三名の仲間と気持ちをひとつにして闘おう。

## 第29回定期大会の 成功をかちとろう

とき 二〇〇〇年十月一日 十時より

ところ DC会館・大会議室